



SAP Ariba 

# ERP で処理エラーとなったサービスシートの編集および再提出

SAP Ariba、Johan Holm  
一般提供予定: 2018 年 8 月

CONFIDENTIAL

 Run Simple

## 機能の概要

### 新機能: ERP で処理エラーとなったサービスシートの編集および再提出

実装の難易度 ● 最小限/簡素  
関連する地域 ● グローバル

#### お客様の課題

サービスシートが SAP Ariba Buying から SAP ECC に送信され、ERP で処理が失敗し、SAP ECC から状況「却下済み」が誤って返されたとします。これにより、ユーザーが混乱します。また、ユーザーはサービスシートの問題を修正し、SAP ECC に再プッシュすることができません。

#### SAP Ariba でこの課題に対応

バイヤー ERP (ECC) へのプッシュが失敗した場合に、この機能によって、ユーザー (SAP Ariba Buying のバイヤー) がサービスシートを修正することができます。新しい状況「外部システムでの処理エラー」、および失敗した理由の説明が追加されました ([履歴] タブで確認できます)。

SAP Commerce Automation をご利用のお客様の Ariba Network には、処理エラーとなったサービスシートをサプライヤーが修正する機能がすでに含まれています。

#### 実現される主なメリット

この機能により、ERP へのプッシュ時に起こりうるサービスシートの問題を、SAP Ariba Buying のユーザーが修正することができます。

#### ソリューション領域

SAP Ariba Buying  
SAP Ariba Buying and Invoicing  
SAP Ariba Invoice Management

#### 実装に関する情報

この機能は、通常の設定で有効化されています。

#### 前提条件および制限事項

これは SAP ERP 統合サイト向けの機能です。

## 機能の概要

### 概要: ERP で拒否されたサービスシートの編集および再提出

現行の機能では、サービスシートが SAP Ariba Buying で承認され SAP ERP に送信された後、ERP で処理が失敗すると、SAP ERP から「却下済み」が返され、失敗理由の情報は返されません。バイヤーには、この問題を修正して再提出する方法がありません。

新機能を使用すると、SAP Ariba Buying のユーザーが、サービスシートに「外部システムでの処理エラー」が発生したことを示す通知を取得することができます。また、サービスシートを状況別にフィルタリングし、サービスシートの失敗理由テキストを [履歴] タブで表示することもできます。また、ユーザーがサービスシートを編集して ERP に再提出するか、サービスシートを却下するかを選択することもできます。

